

## 株主優待

毎年3月31日(中間期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主さま1名につき、当社オリジナル製品1セットを贈呈いたします。

### 所有株式数100株以上

- いちごジャム ●ブルーベリージャム
  - オレンジマーマレード
- (各320g) **2,700円相当**



### 所有株式数1,000株以上

- いちごジャム ●ブルーベリージャム
  - オレンジマーマレード ●株主優待 特別限定品
  - ピーナッツバター(種子島産粗糖使用)
- (ジャム各320g、ピーナッツバター150g) **5,000円相当**



株主優待の対象者確定

6月上旬に株主優待発送

※商品パッケージの変更を予定しております。

# 第77期 報告書

2022年10月1日から2023年9月30日まで



証券コード：9869



## Information



2024年3月より、自社ブランド「カンピー」の最上級ブランド『カンピーザ・プレミアム』に新たな商品シリーズが加わります。今後は2023年10月に完成しました加藤産業グループの株式会社グリーンウッドファクトリーの新工場にて製造を予定しております。これからもラインナップを拡充し、日常の中のちょっとした贅沢を生活者の方々にお届けできるブランドを目指してまいります。

### 「カンピー ザ・プレミアム」新ラインナップ

#### 2023年3月 発売

- 果実の贅沢シリーズ 2品
- とろける贅沢シリーズ 2品

#### 2024年3月 新ラインナップ\* 予定

- 手造りジャムシリーズ 8品
- 有機ジャムシリーズ 2品
- ピーナッツバター(種子島産粗糖使用)



\*自社商品ブランド「GREEN WOOD」「カンピー」で展開している商品を「カンピー ザ・プレミアム」へリニューアルいたします。

### カンピー公式インスタグラム(ID: @kanpy0822)

カンピーブランドでは、Instagramに公式アカウントを開設しております。新コンテンツ「カンピーキッチン」では、当社の商品を使用したオリジナルレシピ動画を投稿しておりますので、ぜひご覧ください。



誕生65周年を記念してリニューアル!



カンピーちゃん



## 連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights



\*2022年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。2022年度は適用前と適用後の数値を併記し、2023年度は適用後の数値のみを記載しております。



https://www.katosangyo.co.jp/



詳細は、当社ホームページに掲載されている「株主・投資家情報」をご覧ください。  
https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/



◆ ごあいさつ ◆

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

食品流通業界におきましては、消費者の食生活や購買行動の多様化が進むとともに、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、コロナ禍からの経済活動の正常化の中で、原材料価格も含めた仕入価格や人件費・エネルギー価格等のコストアップに、円安の影響も加わり、商品の値上げが断続的に実施される状況が続いております。また、商品の値上げ等により家計への負担感がさらに増すことで、生活防衛意識が一層強くなると予想されます。そして、コロナ禍からの行動制限解除により外食関連需要に回復が見られる一方、家庭内消費に関連する需要は堅調ではあるものの、物価上昇に伴う節約志向の進行による消費マインドの冷え込みが顕在化してまいりました。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、デジタル技術の活用も含めて取引先との取組み関係をより一層強化し、強みである提案型営業をさらに推進するなど、営業機能を強化してまいります。加えて、自社ブランド商品については、商品開発や販促施策、消費者との接点作り等においてブランド価値を上げながら拡販し、収益性の向上を図ってまいります。一方、物流費をはじめとした諸経費に関しては、物流関連企業との連携強化や機械化・デジタル化の推進等により、全ての業務を見直して生産性を向上させ、コストの抑制及び経営の効率化を進めてまいります。今後の当社グループの成長戦略の一つである海外事業では、特にマレーシアにおいては同国最大級、ベトナム及びシンガポールにおいても有力な卸売業グループとして、引き続き日本を含めたアジア地域における食品流通事業のさらなる拡大を進めてまいります。

サステナビリティの取組みについては、『毎日の食を豊かに、明日の食を守り続ける』をスローガンに、サステナビリティ委員会が中心となり活動を推進しております。4つのマテリアリティ（重要課題）を解決することで、持続可能な社会の実現に貢献するとともに持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



代表取締役社長執行役員 加藤 和弥

社 是

能力を啓発し機能を充実し  
生販両層にとって最も価値  
ある存在として周囲の人々の  
生活を豊かに実らせ 其處に  
社会性を有する企業として  
永遠の発展を礎きあげる。

加藤産業グループが次のステージへ挑戦するための、私たちの社会的使命と事業領域を定めた「グループミッション」「長期ビジョン」

私たちのミッションは、「豊かな食生活」を提供して、人々の幸せを実現すること。私たちの全ての活動・取組みは、このミッションの達成を目指す。

**Mission**

私たちのミッション(使命)は、  
食の生産の源となる自然の恵みを大切に、  
誰でも、安全で安心な商品が手頃な価格で手に入り、  
季節性・地域性に富んだ多様な食を楽しみ、食文化を継承し、  
育むことで家族の団らん・人々の絆を強め、  
健康で健全な生活に貢献するような「豊かな食生活」を提供し、  
人々の幸せを実現することです。

私たちのミッションを達成するための  
長期ビジョン(未来像)

**Vision**



- 「食のインフラ」になる**

商品、情報、ロジスティクスの総合力を発揮して、生活者の豊かな食生活を支える基盤を作る
- 「食のプロフェッショナル」になる**

食品流通に携わるプロとして知識を蓄え、スキルを磨き、生活者に豊かな食生活を提供する
- 「食のプロデューサー」になる**

生活者が豊かな食生活を実現するために、「つなぎ」を実現し、「食」が持つ価値を創造する

◆ サステナビリティ基本方針

加藤産業グループは、「豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること」というミッションを通して、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を目指します。そのために、4つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、これらの解決に取り組むことで、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

◆ マテリアリティごとの目指す姿と2030年目標

**脱炭素**

目指す姿

- サプライチェーン全体の脱炭素のために、生産者から消費者までの全体最適を実現する
- 省エネルギー、創エネルギー、非化石エネルギーの調達、カーボンオフセットの活用により、カーボンニュートラルを達成する

2030年目標

- CO<sub>2</sub>排出量の削減 2021年度比 30%削減

**フードロス&ウェスト**

目指す姿

- 家庭用食品の廃棄量を削減するために、サプライチェーン全体を最適化するプラットフォームを構築する

2030年目標

- 廃棄金額 2021年度比 50%削減
- 返品金額ゼロ

**資源循環**

目指す姿

- 環境負荷を低減するために、石油から新たにつくられるプラスチックや、適切に管理されていない森林由来の紙資源を使用しない流通システムを構築する

2030年目標

- 物流資材における代替プラスチックへの移行とプラスチック類の再資源化100%
- すべての自社ブランド商品におけるサステナビリティへの配慮

**多様な人財の活躍**

目指す姿

- 多様な能力、価値観を持った人財が、それぞれの立場で活躍できる会社となる

2030年目標

- 男女の固定的な役割分担意識や処遇における不平等を解消し、男女ともに安心して働き続けられる職場環境を全員で作り上げる

※「目指す姿」の達成時期は、当社が100周年を迎える2047年を想定しております。

# News Close-up

## 丹波篠山に新工場完成

当社の上郡工場におけるジャム類の製造事業を、2023年10月に「株式会社グリーンウッドファクトリー（旧兵庫興農株式会社）」へ吸収分割いたしました。

カンピージャム等の製造に加えて、緑豊かな兵庫県丹波篠山の地で地域との共生、自然との調和により世の中に貢献する工場を目指してまいります。

### <概要>

- 所在地：兵庫県丹波篠山市北266番地1
- 竣工：2023年7月
- 稼働：2024年2月までに順次製造ラインを稼働予定



### <サステナブルの取り組み>

#### ①廃棄物の削減

- ・業務用生ごみ処理機を導入し、動植物性残渣の排出量を削減
- ・廃棄物熱分解装置を導入し、一般廃棄物（プラスチック・瓶等）の排出量を削減
- ・バイオ製剤により、排水処理で発生する余剰汚泥を削減
- ・事務エリア、製造エリアとも紙の使用量を削減

#### ②環境に配慮したエネルギーや資源、機器の利用・活用

- ・工場内に設置された太陽光パネルを使用することで、電力使用量を年間25%削減



## 日本ロジスティクスシステム協会 「ロジスティクス大賞 社会性特別賞」受賞

製配協働による物流業務の効率化・標準化の実現を目的とした当社の取組みについて、日本ロジスティクスシステム協会において高く評価され、2023年度の「ロジスティクス大賞 社会性特別賞」を受賞いたしました。

2024年問題をはじめとした物流クライシスへの対応として、ヤマサ醤油株式会社様・日本パレットレンタル株式会社様との協働によって「検品レス」と「伝票レス」を同時実現いたしました。検品レスにより検品作業時間の約60%が削減され、伝票レスにより各種事務作業の軽減、さらには納品回数削減により配送車両台数の約20%が削減されました。



## 海外事業特集

当社グループは、独立した存在感のある卸売業としての企業規模を確立するとともに、次代の成長を見据えて一層の機能強化を図るため、特に経済成長に伴い小売市場が拡大するアジア地域において食品流通事業の展開と構築を進めてまいりました。

今後も海外事業を成長戦略の一つとして位置づけ、より一層の事業展開の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。

### <直近の動向>

- 2023年 4月：ベトナム卸売企業「Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd.」株式取得
- 2023年 10月：シンガポール卸売企業「Teo Soon Seng Pte. Ltd.」株式取得

### <主な海外拠点>

#### ■ マレーシア

- ・Kato Sangyo Malaysia Sdn. Bhd.(◎)
- ・Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.(◎)
- ・Merison (M) Sdn. Bhd.(◎)

#### ■ シンガポール

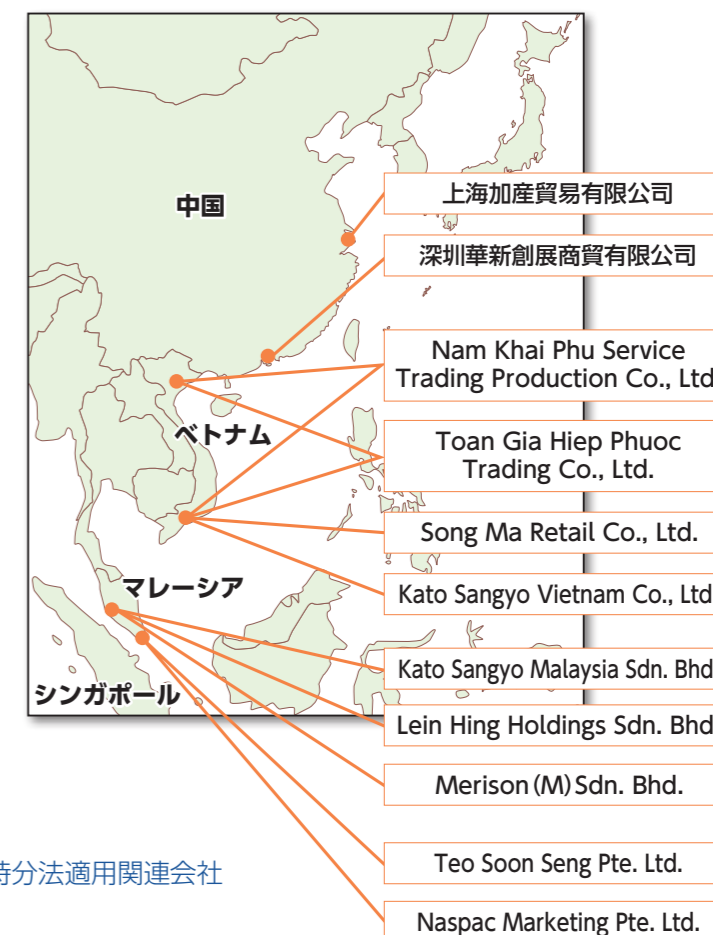
- ・Teo Soon Seng Pte. Ltd.(◎)
- ・Naspac Marketing Pte. Ltd.(◎)

#### ■ ベトナム

- ・Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd.(◎)
- ・Song Ma Retail Co., Ltd.(◎)
- ・Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.(◎)
- ・Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.(○)

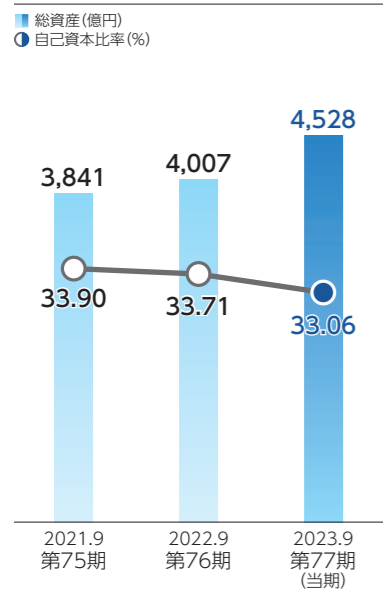
#### ■ 中国

- ・上海加産貿易有限公司(○)
- ・深圳華新創展商貿有限公司(△)

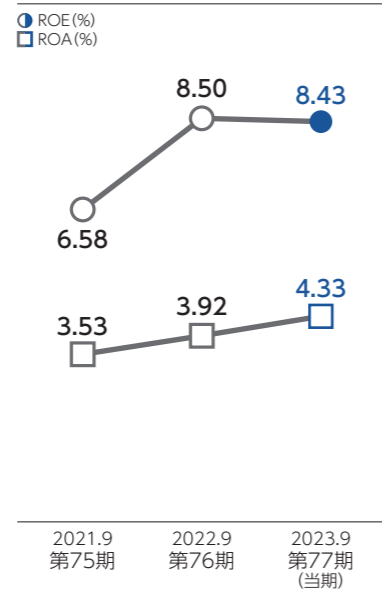


◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

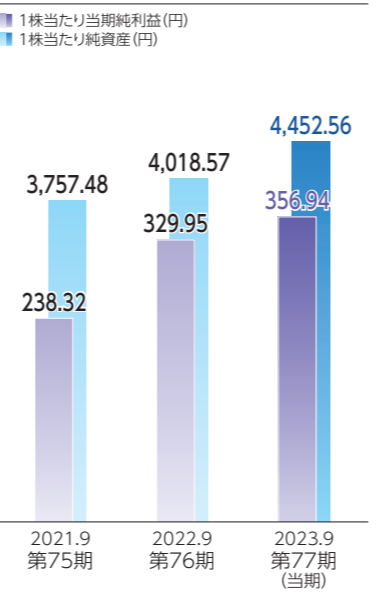
総資産 & 自己資本比率



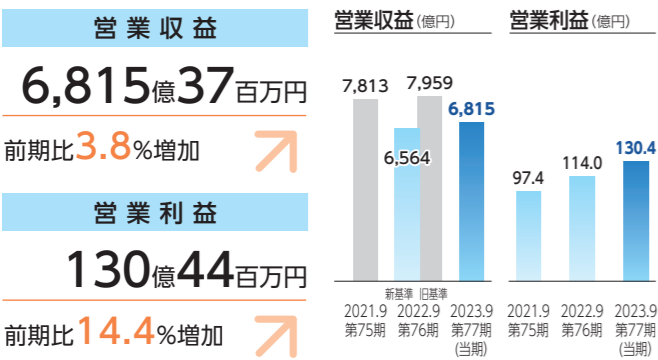
ROE & ROA



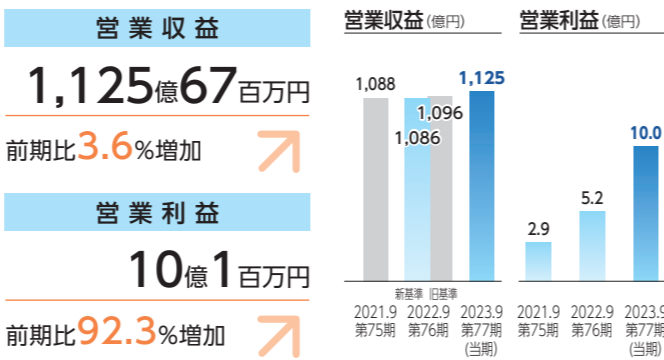
1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



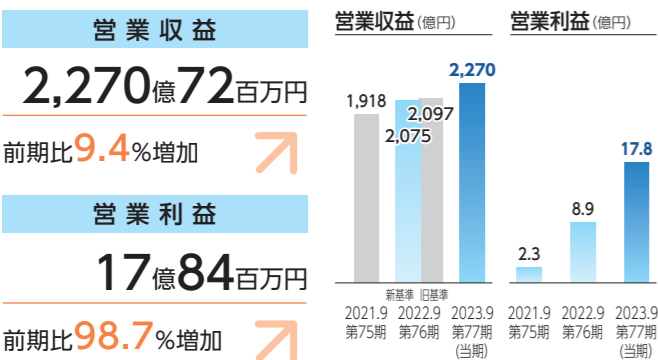
常温流通事業



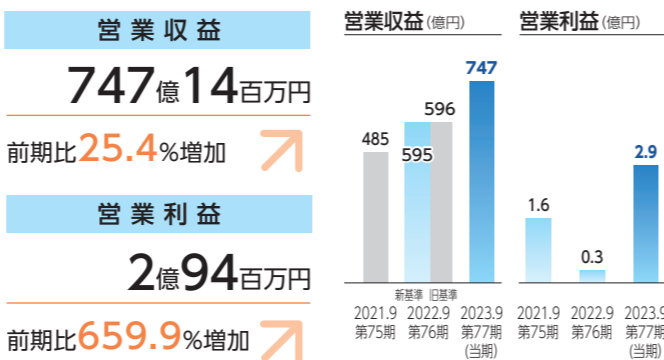
低温流通事業



酒類流通事業



海外事業



※営業収益及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。  
 ※営業利益は、のれん償却費を含んでおります。  
 ※2022年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。  
 2022年度は適用前と適用後の数値を併記し、2023年度は適用後の数値のみを記載しております。

会社概要 (2023年9月30日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー商品販売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,134名

取締役・監査役及び執行役員 (2023年12月22日現在)

役職	氏名	役職	氏名
代表取締役	加藤 和 弥	社外取締役	八十川 祐 輔
取締役	中村 考 直	社外取締役	海 保 理 子
取締役	日比 啓 介	社外取締役	青 木 英 彦
取締役	次家 成 典		
取締役	大西 高 司		
監査役	中島 嘉 幸	社外監査役	山 村 幸 治
監査役	池村 昌 人	社外監査役	森 内 茂 之
社外取締役	加藤 和 弥	執行役員	小 野 聡
専務執行役員	中村 考 直	執行役員	明 石 誠
常務執行役員	太田 尚 史	執行役員	和 田 陽 一
常務執行役員	菅 公 博	執行役員	金 子 潤 一
常務執行役員	日比 啓 介	執行役員	井 原 太 郎
常務執行役員	打田 雅 俊	執行役員	中 谷 勤
上席執行役員	次家 成 典	執行役員	高 瀬 健 治
上席執行役員	大西 高 司	執行役員	合 田 恭 典
上席執行役員	松村 努	執行役員	田 中 英 治
		執行役員	中 川 吉 明

主要グループ会社

事業内容	会社名
国内	低 温 ○ケイ低温フーズ株式会社
	酒 類 ○三陽物産株式会社
	酒 類 ○ヤタニ酒販株式会社
	菓 子 ○加藤菓子ホールディングス株式会社
	菓 子 ○カトー菓子株式会社
海外	マレーシア ○株式会社植嶋
	マレーシア ○Kato Sangyo Malaysia Sdn. Bhd.
	マレーシア ○Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.
	マレーシア ○Merison (M) Sdn. Bhd.
	シンガポール ○Teo Soon Seng Pte. Ltd.
	シンガポール ○Naspac Marketing Pte. Ltd.
	ベトナム ○Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd.
	ベトナム ○Song Ma Retail Co., Ltd.
	ベトナム ○Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.
	ベトナム ○Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.
中 国 ○上海加産貿易有限公司	
中 国 △深圳華新創展商貿有限公司	
物 流 ○マンナ運輸株式会社	
物 流 ○カトーロジスティクス株式会社	
メ ー カ ー ○株式会社グリーンウッドファクトリー	
メ ー カ ー ○和歌山産業株式会社	
外 食 ○株式会社アドバンスキッチン	

○=連結子会社、◎=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式の状況

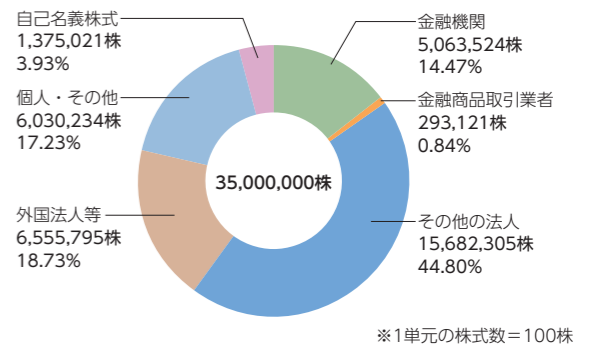
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株
株 主 数	6,398名 (内、単元株所有者数: 5,966名)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,351	9.96
三井物産株式会社	3,153	9.37
三菱商事株式会社	1,787	5.31
株式会社プラスダブル	1,280	3.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	931	2.77
株式会社加藤興産	850	2.52
キューピー株式会社	841	2.50
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.49
カゴメ株式会社	731	2.17
JP MORGAN CHASE BANK 385632	715	2.12

※当社は自己株式1,375,021株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
 ※持株比率は自己株式(1,375,021株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公 告 方 法	電子公告の方法により行う (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。) ※公告掲載URL <a href="https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/">https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/</a>

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。